

令和6年8月18日（日）地域クラブ意見交換会 議事録

出席者：15名

1. はじめに

2. 中体連としての地域クラブの考え方（確認）

○大会参加の方針について

- ・地域クラブ参加が認められた趣旨の確認
 - 「全中に繋がる大会」の参加が認められた
 - その大会の参考資料が必要、よって他大会の参加も広げた
- ・今後、クラブの数が増えていくことも考えられる

○部活動ガイドラインについて

- ・部活もクラブも活動日数や時間の制限を守りながらの活動が前提であることを確認
- ・東京都の事例
 - クラブの参加数があまり増えていない現状
 - 活動の「審査」をしていることも要因と考えられる
- ・「優秀選手強化事業」について
 - 中体連から援助が出ている
 - クラブ選手の参加は認められていない
 - 学校の部活にも所属していて、校長の許可があれば参加も可能
 - 現状強化練習会としての趣旨にマッチしない部分もある、要検討

3. 第2期の登録について（確認）

○クラブ→クラブ間の移籍に関して

- ・現状はルールを設けていない
- ・部活→クラブの移籍は、本人の意思に関係がない場合も多い
 - 例）人数が足りなくなり団体戦に出られないからクラブに移籍 など
 - 小学生（今はペナルティなし）、高校生の移籍後の制限があることとは違うという捉え
- ・「強いチームを作るために選手を集める」は趣旨に反する

4. 今後の大会参加の注意点

●県選抜強化大会について

- ・クラブ予選を実施する理由を確認

→第2期登録時期の関係で大会に出場できない選手がいないようにしている
(地区予選の申し込み時期と重なっている)

●関東オープン選考会について

●神奈川県中学校バドミントン大会(新人戦)

●次年度の県強化事業選手選考会(3月実施)

→新人戦で上位(順位の規定はない)に入った中学1年生と小学6年生で実施

5. その他連絡事項

●背面規定などについて

- ・4月段階で言われていた「大文字、小文字が混ざってはいけない」は無くなる予定
→実業団等から多数意見が出た模様
- ・読まない文字(「/」「☆」)がチーム名に入っているものが注意された事例あり

●ユニフォームについて

- ・上位大会では検定合格品でも、チーム名以外の背面文字(「神奈川」など)が入ったものは不可

●12月関東オープン、来年8月関東大会の審判について

- ・関東オープンは全日本総合と日程が重なり、協会からの派遣が難しそう

6. 各クラブ意見交換会

質問 第2期の登録が8月31日までだが、夏休み中に学校とタイムリーに連絡を取り動いてもらうことは現実的に可能なのか。

→学校や顧問によるが、県中体連の登録は進めながら学校と連絡を取る。

→選手が出られなくなってしまう、をとにかく避ける動きを取ってもらえれば。

質問 コーチの服装について、検定品なら無地の襟なしは可能か。

→可能。メーカー的には襟がないように見えるだけで「襟がある」の扱いとのこと。

質問 関東オープンや全日中は3日間帯同、日ごとの交代は不可なのか。

→不可。登録した監督名、コーチ名でIDも印刷されるので。

質問 背面の規定(個人名か地区名かの部分)が全国のそれと違うが、今後も変わらない?

→変わらない予定。

質問 第2期登録以後、年度内の大会に出られないケースの確認をしたい。
→8月31日までに登録がされれば、部活→クラブの移籍でも、クラブ→部活の移籍でも年度内の大会はすべて出ることができる。
→出られないのは、そもそもどこにも登録されていない中学生と、9月以降に所属を辞めてしまった場合。

意見 ①の質問の件、第2期登録について事前に中体連登録を進めると揉めないか。
クラブに家庭の意向だけが届き、学校はまだ認めていない、といったケース。
小学生で揉めたことも過去にあったので。
→その場合、揉めることが予想される。可能な限り中学校と連絡を取ってから進めてもらいたい。

質問 地区や市の大会で小学生が審判に入ることについて、クラブとして現状は「中体連の試合だから」ということで保護者をお願いしているが、中体連としてはどのように考えているのか、知りたい。
→中体連としての大会運営であるので、小学生が運営に参画することは難しい。

質問 審判の服装（主に保護者審判員）について、現状は特に規定はないようだが、今後どうなるのか。
→すぐに規定をつくるということではないが、ふさわしい服装で担ってもらえるように投げかけていく必要がある。

質問 部活動の受け皿として学校で活動しているが、クラブとしてスポーツ保険の加入は必須か。
→「部活動の受け皿」としていれば、学校ごとに対応が変わってくるのではないかな。
→入っておいた方が無難ではある。

質問 部活の監督、クラブの監督を兼ねられない現状について、今後の方向性として何かあれば知りたい。
（背景）元々は中学校の部活動だったが現在男子はクラブ、女子は部活動。中学校の体育館でどちらも指導しており、監督として両方に登録することができない現在の仕組みは理解しているが、困っている。

共有（困り） 女子には部活動指導員が入っていて、給与が発生している。クラブにするとお金は発生しなくなる。監督の登録の問題を解決するひとつの方法であるのは理解しているが、指導者の不利益に繋がるとも言える仕組みにクラブ化のハードルがある。

→学校とクラブの両方で監督として登録ができない現状は、変わらないだろう。

→制度の部分なので、専門部は課題としてあげていくしかない。

質問 クラブ本拠地の扱いについて共通理解をしたい。

→「代表者の住所」という方針だが、中体連登録の際に確認する方法がない。

→既に中体連本部が登録地区と代表者の住所が異なる状況で受理している現状。

→代表が替わることもある。その都度、地区が変わるというのもおかしい話。

→拠点となる体育館があるチームもあれば、特になしチームもある実状、難しい部分である。

質問 令和6年3月9日県中体連発出

地域クラブ活動の参加資格の特例における競技部細則（ホームページにリンク有）

12 バドミントン （3）①（エ）

「夏季全国大会出場につながる最初の大会への出場後の移籍変更はできない。」の件この文言通りに捉えていたが、クラブとしての解釈と現状に齟齬があるようだ。

第2期登録は、それまでどこにも所属していなかった選手が新たに登録するため、また大会に出場していない選手のためのもの、と捉えてきたが、ここまでの話を受けると部活→クラブ等のいわゆる移籍ができるものと理解した。実際にクラブに入りたいという意向を受けた際に、この細則の文言を根拠に断りの説明をしてきた。この文言の意味するところと、第2期登録の仕組みとの整合性を確認したい。

→細則の発出元である中体連本部に確認をする。

⇒総体に部活、クラブどちらからも出場することを禁止するための文言。

総体終了後の移籍に関しては都道府県の判断にゆだねるとの回答だったため出場機会を失う生徒を出さないよう移籍はできるという認識で行く。

質問 県強化リーグは良い事業だったと思うが、無くなった経緯を知りたい。

→過去の事例（令和4年度）もあり、シード決定方法として妥当性を検討した。

意見 シード決定の目的以上に、選手（団体）の強化事業としてよかったと思う。

現在は飯田杯という形で一部残っていることは理解している。

→働き方改革の流れや、強化事業として中体連から減らすようにとされている。

様々な観点での判断だった。

→強化事業から外して実施することは可能だが、援助が出なくなる。

→各所の負担もあり、持続が難しい。

質問 クラブとしては、現状は出られる大会に出ながら審判等当日に協力をして…というスタンスでよいのか。

→現状は当日の運営のサポート（審判等）だけとなる。

質問 代表者の交代について。3年生保護者が代表だったので、第2期登録のタイミングで変更できるのか。大会の監督、フロアに降りられる指導者の問題も絡むと思うので。

→これまで事例はないが、チームの本拠地の問題もあるので整理が必要。

→中体連本部に確認後、連絡する。

⇒第2期での変更に関に合えば可能とのこと。代表者が変わることで出場地区を変えるなどの意図がなければ専門部としても認めていきたい。

質問 選手の住所と本拠地の地区が違うことは構わないのか。

→構わない。ただ、活動の実態があることが前提。大会の時だけ集まる、みたいなことは趣旨と違う。何でもありになってしまう。

→一律の仕組みにするのは難しい。市を跨ぐことを制限すると、地区によってはチームが成立しないようなことも。特に部活動やクラブがそもそも少ない地区。

→東京都に住所のある選手が隣接する神奈川県内のチームに所属するという事例も既にある。